

選定に必要な資料

(種目名 音楽一般)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫		(6) その他
G 教育出版	<p>・「さまざまな音楽文化」というテーマでは表現と鑑賞を関連させ日本と世界のつながりを意識できるよう工夫されている。(1年p16-25, 40-47)</p> <p>・創作の指導事項に応じて「旋律をつくる」「音楽の構成やまとまりを工夫する」ことが系統的に学習できるよう配慮されている。(2・3年下p40, 46)</p>	<p>・「歌のアルバム」では幅広いジャンルを取り上げ, 多様な楽曲を通じて学習活動に取り組むことができるように配慮されている。(全学年p66-80)</p> <p>・日本と他国の音楽文化の共通点や相違点を探る教材がまとまりをもって配置されている(1年p46 2・3上p40)</p> <p>・「どんな特徴があるかな?」では音楽を形づくっている要素が分かりやすい図で表しているが, すべての教材において関連づけて考えられるよう目次や各教材での表示の工夫が望まれる。</p>	<p>・鑑賞では, 楽譜と楽器の写真を併記することで音とともに視覚的に楽曲の構成をとらえられるように工夫されている。(1年p49-51)</p> <p>・「ポピュラー音楽図鑑」では, 幅広い音楽ジャンルが紹介され, 鑑賞と関連付けて取り扱うことができるよう参照ページが示されている。(2・3年上p58-61)</p>	<p>・全学年「音のスケッチ」で創作の学習内容と具体的な活動が示され, 創作の学習を段階的に行うことができるよう配慮されている。(1年p52, 56, 60)</p> <p>・「郷土の伝統ある音楽文化にふれる喜び」として, 日本各地の中学生の活動が紹介されている。(2・3年上p52-53)</p>	<p>・「どんな特徴があるかな?」では, 音楽を形づくっている要素についてわかりやすく示されており, 教材と関連付けて確認できるよう配慮されている。(1年p62, 2・3年上p56, 下p48)</p> <p>・鑑賞では, 言語活動を取り入れた学習活動例を示したり, 比較聴取教材を設けたりするなど, 知覚・感受を深めることができるよう工夫されている。(2・3年下p24-27)</p>	<p>・教材に関する用語や記号がページ右側に示され楽典のページで確認できるよう工夫されている。</p> <p>・「私たちのくらしと音楽」では知的財産権や音楽療法などが紹介されくらしと音楽との関連について考えることができるよう, 配慮されている。(2・3年下p50-53)</p>	<p>・全体的に教材ごとの大きく美しい写真が示されその楽曲の表す情景やイメージを持って学習できるよう工夫されている。</p> <p>・教材の左側に縦書きで「活動のポイント」が示され, 指導事項と[共通事項]との関わりを確認しながら学習活動を進めることができるよう, 配慮されている。</p>
H 教育芸術社	<p>・創作の学習では, 学習の手順を簡潔に示すとともに, 鑑賞, 歌唱との関連を図りながら学習ができるよう配慮されている。(1年p30, 48)</p> <p>・「心通う合唱」では中学生の声域に配慮した混成三部合唱が多く取り上げられている。(1年p58-74, 2・3年上p60-76, 下p56-72)</p>	<p>・「音楽学習MAP」では, 学習の支えとなる[共通事項]が[学習の窓口]という言葉で表され, それぞれの楽曲で焦点化して取り扱う事項が確認できるよう配慮されている。(全学年p2, 3)</p> <p>・伝統音楽について幅広いジャンルから教材を選択するとともに, 創作との関連を図ったり, 音環境という観点から取り扱ったりできるよう, 工夫されている。(1年p40-49, 口絵3, 4)</p>	<p>・伝統芸能や民謡などは聴いてまねて歌う(唄う, 謡う)学習が取り入れられ, 生徒が関心を持って音楽の特徴を理解することができるよう, 配慮されている。(1年p46, 2・3年上p44, 2・3年下p42)</p> <p>・教材に関連した資料として, 世界や日本の代表的な音楽祭やホール, 劇場などが大きな写真で紹介され, 興味関心が高められるよう配慮されている。(全学年口絵1, 2)</p>	<p>・「ここが分かればGrad up!」は, 学習内容を確認することができるとともに, 音楽表現の創意工夫をする上での視点となるよう配慮されている。(2・3年上p10, 17, 26)</p> <p>・表現したいイメージをもって構成を工夫しながら創作する活動を個人やグループで行うことができるよう, 学習内容や手順が分かりやすく示されている。(2・3年上p30-31)</p>	<p>・「心通う合唱」ではタイトルの横に曲の特徴や歌う際のポイントを[共通事項]と関連させながら簡潔に示し, 全体像をとらえたいうえで工夫して歌えるよう配慮されている。(2・3年下p56-71)</p> <p>・曲想の異なる3つの曲を, 根拠をもって批評し, お互いに伝え合う活動ができるよう工夫されている。(2・3年下p30-31)</p>	<p>・口絵には日本や諸外国の音楽の基礎的な事項が豊富な写真で示され, 理解を深める工夫がされている。(2・3年下口絵1-9)</p> <p>・音楽に関する知的財産権や, インターネットにおける音楽利用についてQ&amp;Aの形で分かりやすくまとめられている。(2・3年下p50-51)</p>	<p>・教材名の上下に目標と具体的な活動内容を示すとともに「音楽学習MAP」に示した[共通事項]のマークによりその関連を確認しながら学習できる点で優れている。</p> <p>・小学校で学習した日本の歌が混声合唱に編曲され, 地域との交流会や行事等で活用するなど, 小学校と中学校の学びの関連を図る工夫がなされている。(1年p54, 2・3年下p54)</p>